

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分  
 【発行日】平成 27 年 7 月 9 日 (2015.7.9)

【公開番号】特開 2015-37969 (P2015-37969A)  
 【公開日】平成 27 年 2 月 26 日 (2015.2.26)  
 【年通号数】公開・登録公報 2015-013  
 【出願番号】特願 2014-157859 (P2014-157859)  
 【国際特許分類】

**B 6 5 D 90/32 (2006.01)**

**C 0 8 F 4/32 (2006.01)**

**B 6 5 D 90/34 (2006.01)**

【F I】

B 6 5 D 90/32

C 0 8 F 4/32

B 6 5 D 90/34

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 5 月 21 日 (2015.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発熱分解しやすい化合物と、場合によっては 1 つ又はそれ以上の有機希釈剤とを含む充填された配合物であって、ガスを放出するためのガス抜き口を備え、かつ、ピカット B 軟化温度が、(a) 配合物が希釈剤を何ら含有しないならば、発熱分解しやすい化合物の暴走温度以下であり、又は、(b) 配合物が有機希釈剤を実際に含有するならば、希釈剤の総重量の少なくとも 90 w t % の沸騰温度以下である熱可塑性材料から作製される、体積が少なくとも 250 リットルである容器において充填され、

前記容器の壁が 0.5 mm ~ 5 mm の範囲における平均厚さを有し、前記容器が 0.5 bar ~ 2.0 bar の範囲における破裂圧力を有する充填された配合物。

【請求項 2】

前記発熱分解しやすい化合物が有機ペルオキシドである、請求項 1 に記載の充填された配合物。

【請求項 3】

有機希釈剤を含有し、希釈剤の総重量の少なくとも 50 w t % が、前記熱可塑性材料の軟化温度よりも少なくとも 5 高い沸騰温度を有する、請求項 1 又は 2 に記載の充填された配合物。

【請求項 4】

有機希釈剤を含有し、前記有機希釈剤が、イソドデカン及び鉱油からなる群より選択される、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の充填された配合物。

【請求項 5】

前記発熱分解しやすい化合物と、1 つ又はそれ以上の有機希釈剤と、さらなる希釈剤としての水とを含む乳化物である、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の充填された配合物。

【請求項 6】

前記熱可塑性材料が高密度ポリエチレン (H D P E) である、請求項 1 から 5 のいずれ

か一項に記載の充填された配合物。

【請求項 7】

前記容器の壁が 0.5 mm ~ 3.5 mm の範囲における平均厚さを有する、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の充填された配合物。

【請求項 8】

前記容器が、注ぎ口開口部と、注ぎ口開口部の周囲に沿った首部と、注ぎ口開口部を覆うための本体部プレートを含むガス抜き用カバー部とを有し、前記本体部プレートには、ガス抜き開口部があり、かつ、前記首部の外側面における対応する締結手段と共同するための締結手段を備える内側の周囲表面を有するフランジがその周囲に沿って配置されて存在しており、前記ガス抜き開口部が、前記首部の前記締結手段と、前記フランジとの間に固定されるシートであることにおいて特徴づけられるガス透過性フィルターによって覆われる、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の充填された配合物。

【請求項 9】

発熱分解しやすい化合物と、場合によっては 1 つ又はそれ以上の希釈剤とを含む配合物を貯蔵及び / 又は輸送するための方法であって、前記配合物が、ガスを放出するためのガス抜き口を備え、かつ、ピカット B 軟化温度が、( a ) 組成物が希釈剤を何ら含有しないならば、発熱分解しやすい化合物の暴走温度以下であり、又は、( b ) 組成物が有機希釈剤を実際に含有するならば、希釈剤の総重量の少なくとも 90 wt % の沸騰温度以下である熱可塑性材料から作製される、体積が少なくとも 250 リットルである容器において貯蔵及び / 又は輸送され、

前記容器の壁が 0.5 mm ~ 5 mm の範囲における平均厚さを有し、前記容器が 0.5 bar ~ 2.0 bar の範囲における破裂圧力を有する、方法。

【請求項 10】

ポリマーを、有機ペルオキシドをフリーラジカルの供給源として使用するラジカル重合プロセスによって製造するための方法であって、請求項 2 に記載される充填された配合物を重合装置のところに輸送すること、及び、前記配合物を重合プロセスに導入することを伴う、方法。

【請求項 11】

請求項 2 に記載される充填された配合物をポリマー修飾装置のところに輸送すること、及び、前記配合物をプロセスに導入することによる、( コ ) ポリマーを修飾する方法。